

宮脇遺跡 第 54 地点

遺跡名	宮脇遺跡
よみがな	みやわきいせき
調査地点	第 54 地点
主な時代	平安時代（約 1200 年～1100 年前）
調査地	富士見市羽沢 3 丁目 29 番 3
調査面積	133 m ²
調査期間	平成 30 年 1 月 29 日～2 月 13 日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 平安時代の竪穴住居跡 1 軒、掘立柱建物跡 1 棟 時期不明の土坑 2 基 等</p> <p>【出土した主な遺物】 平安時代の須恵器坏・甕、土師器甕、鉄鏃 等</p> <p>【概要】</p> <p>宮脇遺跡は、北東側の沖積低地を臨んだ武蔵野台地縁辺部に位置しています。当遺跡は富士見市を代表する古代の大規模な集落跡で、古代の竪穴住居跡が 60 軒以上確認されております。</p> <p>今回確認された竪穴住居跡 1 軒は平安時代のもので、須恵器や土師器のほか、鉄鏃などの鉄製品が出土しています。</p> <p>また、竪穴住居跡とほぼ同じ時代の掘立柱建物跡が、1 棟見つっています。掘立柱建物跡は、建物内の中心に柱を持たない側柱建物跡といわれる構造で、米等を貯蔵する倉庫であった可能性があります。</p>



竪穴住居跡の遺物出土状況



竪穴住居跡の完掘状況



確認された掘立柱建物跡（柱跡）



調査終了状況